

情報セキュリティ基本方針

桑原電装株式会社（以下「当社」といいます。）は、お客様・取引先等からお預かりした情報を含め、当社が保有するすべての情報資産を重要な経営資源と認識しています。

当社は、DX の推進に伴い、クラウドサービス、モバイル端末、コミュニケーションツール、AI その他のデジタル技術の活用を進めていきます。

一方で、情報漏えい、不正アクセス、サイバー攻撃、システム障害、災害その他の脅威から情報資産を適切に保護することは、地域社会、お客様および取引先からの信頼に応え、事業を継続していくための重要な経営課題であると認識しています。

そのため、以下の方針に基づき、経営者の主導のもと、全社的かつ継続的に情報セキュリティの確保および向上に取り組みます。

1. 適用範囲

本方針は、当社の役員、従業員、派遣社員、業務委託先その他当社の情報資産を取り扱うすべての者に適用します。

2. 経営者の責任

当社は、経営者が情報セキュリティに関する最終的な責任を有することを認識し、経営者主導で組織的かつ継続的な情報セキュリティ対策を推進します。

また、DX の推進と情報セキュリティの確保を両輪として捉え、デジタル技術の活用による業務効率化や生産性向上と同時に、安全かつ信頼性の高い情報管理環境を整備します。

3. 社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持および改善に必要な責任体制を整備し、情報セキュリティ責任者を明確にします。

また、情報資産の管理、利用権限、端末・アカウント管理、クラウドサービスの利用、データの保存・バックアップ等について必要なルールを定め、組織的に運用します。

情報セキュリティ対策については、必要に応じて社内規程、運用ルール、手順書等を整備し、その実効性を継続的に確認します。

4. 従業員の取組み

当社の役員、従業員その他情報資産を取り扱う者は、情報セキュリティの重要性を認識し、業務に必要な知識および技術の習得に努めます。

情報セキュリティに関する教育・啓発を定期的 to 実施し、パスワード管理、電子メール、クラウドサービス、モバイル端末、SNS、生成 AI その他のデジタルツールを適切に利用するための意識向上を図ります。

また、一人ひとりが情報資産を適切に取り扱い、情報漏えいや不正利用等を防止します。

5. 情報資産およびアクセス権限の適切な管理

当社は、情報資産の重要性および情報セキュリティ上のリスクを定期的に評価し、リスクの大きさに応じた対策を講じます。

保有する情報資産の重要性に応じて適切に管理するとともに、業務上必要な者のみが必要な情報にアクセスできるよう、ID およびアクセス権限を適切に設定・管理します。

必要に応じ、多要素認証その他の本人確認手段を活用し、不正アクセスやアカウントの不正利用を防止します。

また、パソコン、スマートフォン、タブレットその他の情報端末について、適切な管理、ソフトウェアの更新、ウイルス・マルウェア対策等を実施します。

6. クラウドサービスおよび外部サービスの安全な利用

当社は、会社が承認したコミュニケーションツール、クラウドサービス、業務システム、AI サービスその他の外部サービスを利用する場合、その安全性、利用条件、情報管理方法等を確認したうえで適切に利用します。

外部委託先に情報資産の取扱いを委託する場合についても、必要な情報セキュリティ水準を確認し、契約その他の方法により適切な管理を求めます。

7. データの保全および事業継続

当社は、システム障害、サイバー攻撃、自然災害その他の事態によるデータの消失や業務停止に備え、重要な情報について適切なバックアップを実施します。

また、重大なシステム障害等が発生した場合に、重要業務を可能な限り速やかに復旧できるよう、必要な対応手順や体制を整備します。

8. 法令および契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティおよび個人情報保護に関する法令、規制、規範、ガイドラインならびにお客様・取引先との契約上の義務を遵守します。

また、お客様および社会から求められる情報管理水準を認識し、信頼に応える適切な情報セキュリティ管理を実施します。

9. 違反および情報セキュリティ事故への対応

当社は、情報漏えい、不正アクセス、マルウェア感染、システム障害その他の情報セキュリティ事故、または法令、契約、社内規程等への違反が発生した場合、あらかじめ定めた連絡・報告体制に基づき、迅速かつ適切に対応します。

また、本方針、関連規程または手順に違反した者に対し、就業規則その他の社内規程に基

づき、必要な措置を講じます。発生原因を調査するとともに、必要に応じてお客様、取引先、関係機関等への報告を行い、被害の拡大防止および再発防止策を整備します。

10. 継続的な改善

当社は、本方針および関連する規程・手順を少なくとも年1回、または事業環境、法令、システム、脅威その他の重要な変更があった場合に見直します。

DX推進の進捗とあわせて情報セキュリティ上の課題を把握し、必要に応じて方針、体制、規程および対策の見直しを行い、情報セキュリティ水準の継続的な向上を図ります。

制定日：令和8年10月1日

桑原電装株式会社

代表取締役社長 桑原賢史朗